

2020/02/25 (火)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書4章1-4節 (新約聖書4頁)

1 さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、“霊”に導かれて
荒れ野に行かれた。2 そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹
を覚えられた。3 すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。
「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」
4 イエスはお答えになった。
「『人はパンだけで生きるものではない。
神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』
と書いてある。」

子ども食堂

以前奉職していた学校で、中学2年生が「児童労働」について調べま
した。彼らは世界には日々の糧を求める子どもたちが幼い頃から不当
に安い賃金で働かされ、学校にも行けないことを知りました。そして
世界で子どもたちを児童労働から守るNGOの方から、そうした子ども
たちの実態と支援活動を映像と音声を通して学びました。

秋の文化祭の時でした。彼らは屋台を出して、その売り上げを「子
ども食堂」へ寄付することにしました。彼らは日本にも日々の糧に困
っている家族、1人で食事をしている孤食の子どもたちがいることを
知り、その子どもたちに無料で食事や居場所を提供している「子ども
食堂」の活動を支援したいと思ったのです。

文化祭が終わり、生徒たちは自ら学校近くの「子ども食堂」を探し
ました。そして直接自分たちで寄付を持って行くと名乗りでました。
さらに「子ども食堂」に来る小学生と一緒に遊び、勉強も教えたいと
願い出たのでした。当日、私もそっと彼らの様子を遠くから見守りま
した。その笑顔や笑い声に胸が熱くなりました。

イエスは荒野で断食をして後に飢え、悪魔から「石がパンになるように命じたらどうだ」と誘惑されました。しかし、イエスは「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」と答えました。イエスの言われたパンとは隣人と分かち合うために必要なパンなのです。

(しばらく黙祷しましょう)

祈禱 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ。

あなたは私たちに日々の糧を与えて下さいます。どうか与えられたものを必要な人と共に分かち合う喜びにあずからせ、互いに愛し仕えることができますようにお導き下さい。

また今、中国をはじめ世界各地で多くの人たちが新型コロナウイルスの感染に苦しみ、不安のうちにあります。どうか病にある方々、ご家族、医療看護に従事されている方々に励ましを与え、回復へとお導き下さい。

どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、英和生が互いに励まし喜び合い、祝福の下に過ごせますように。

主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン